

兵庫保険医新聞

第1670号

2011年11月5日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133

(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の記事

- 歯科会員アンケート結果 4面
- 県立こども病院移転問題でマスコミと懇談 3面
- 研究 歯科定例研より 「予防力」を強化するプロケア 6面

ラジオ関西番組

「寺谷一紀と い・しょく・じゅう」内

協会提供コーナー「医療知ろう!」好評放送中

コーナーは木曜19時30分頃～ AM558kHz

協会メーリングリスト 参加者募集中!

診療情報や医療制度から趣味まで
会員同士による交流、情報交換の場

お申し込みは、hyogo-hok@doc-net.or.jpへ

歯科会員アンケート結果 (4面詳報)

請求点数・患者数 震災前より減少

保団連が実施した歯科会員アンケートの兵庫集約分で、請求点数と患者数が減ったとの回答が4割近くに上った。医院経営の将来展望に多くの歯科会員が不安を抱えている実態が浮き彫りになるとともに、患者負担軽減と診療報酬の改善によって受診抑制の克服、経営の安定を求める声が多数寄せられた。

兵庫県保険医協会

第80回評議員会 臨時(決算)総会・第34回共済制度委員会

日時 11月20日(日) 13時～ 会場 保険医協会会議室
共済制度委員会(14時55分～)

特別報告「混迷する金融情勢と生保業界の運用戦略」

報告者 三井生命取締役常務執行役員 中島 拓之氏

特別講演 (16時～)

「震災復興と社会保障の財源を考える」

講師 暮らしと経済研究室主宰 山家 悠紀夫先生



【やんべ ゆきお】1964年神戸大学経済学部卒業。第一銀行入行。第一勧業銀行虎ノ門支店副支店長などを経て94年第一勧業総合研究所専務理事に就任。01年～03年神戸大学大学院経済学研究科教授。04年「暮らしと経済研究室」開設。

お問い合わせは、☎078-393-1801まで

シユプレヒコールをしながらパレードする兵庫協会の参加者
(10月20日、東京)

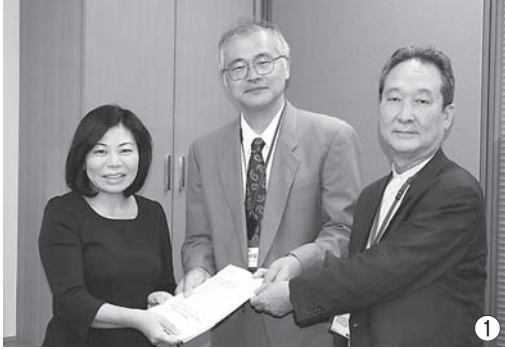


10・20集会

被災者・国民の命守れ

全国から医療関係者5500人参加

「震災復興を口実にした大増税反対、被災者・国民の命を守れ」。東日本大震災の復旧・復興と充実した社会保障を求める「いのちまもる10・20国民集会」が東京・日比谷野外音楽堂で開催され、全国から5500人の医療関係者らが集まった。全国保険医団体連合会や中央社会保障推進協議会、日本患者同盟などからなる実行委員会主催。兵庫協会から、吉岡正雄副理事長、八木秀満理事、藤森隆史評議員が参加した。同日には保団連主催の国会要請も行われた。



八木理事(①右)と藤森評議員(同中央)が井戸衆院議員(同左)、山下参院議員(②右)らと面談。吉岡正雄副理事長も黄川田総務大臣(③左3人目)らに要請して回った

集会では、シンポジウム「療・社会保障・国のありか」のちまたでいよいよ「医た」が行われ、北村龍男・窓口負担軽減など地元議員らに訴え

国会要請では、井戸正枝

窓口負担軽減など 地元議員らに訴え

集会後は、「震災復興に全力を」「社会保障費を増やせ」とシユプレヒコールをしながら、会場から東京駅までパレードした。

ドクターズランニング大阪 川西副理事長が参加、「医療再生」アピール

震災復興と医療再生に必要な診療報酬の改定を求め、11月20日に開催されるドクターズ・デモンストレーション2011の事前企画として、「ドクターズ・ランニング」が10月16日に大阪府立体育センターで行われ、医師・歯科医師や医療従事者など200人が参加した。協会から川西副理事長が参加し、沿道の人々に「震災復興」「医療再生」をアピールしながら走った。

宮城協合理事長はじめ、医療・看護、患者代表らがりレイトークした。北村理事長は、「民間医療機関がなければ日本の医療は成り立たないのに、再建にはわずかな補助しかない」「復旧・復興を国の責任で被災地の合意のもと、進めていくべき」と訴えた。

「歯科でも経済的理由での治療中断が増えている。患者負担の軽減を特にお願いしたい」と(藤森評議員)「がまんして病気が悪化してから受診すれば、むしろ医療費は高くなる」「(八木理事)との訴えに、井戸議員は「国民が医療機関に頼まなくなったり受診をがまんするようなことがあつてはならない」と心えた。山下議員は、「歯科署名はぜひとも紹介議員になりませう」と快諾。八木理事長が被災医療機関への公的支援実現を求めると、「市田書記局長が厚労大臣を迫及した。この後の詰めが大事」などと述べた。

求め、黄川田徹総務副大臣、水野智彦衆院議員(民主)、田村智子参院議員(共産)と面談した。黄川田副大臣は「皆さんの意見はよく分かる。議論を深めていきたい」と、要請内容に理解を示した。歯科医師でもある水野議員は、要請内容に賛成の立場を示しつつ「国民的な議論が必要」と述べた。田村議員は「全面的に協力したい。共にならばまの偏差値が低下している」と連帯表明した。

燭心

全国医学部長病院長会議は今年5月、医学士の学力低下に関する調査結果を公表した。2007年の医学部定員増加以後、医学士の学力は低下傾向にあり、留年者は増加しているとの結果だ。医学部入学者の大学入試センター試験、一般試験の平均点、最低点は定員増加以後に低下し、予備校の模擬試験の医学部入学者の偏差値が低下しているとした▼その原因は、4年間で1298人の医学部入学者の増員が図られたことによるとしている。すなわち、医学部入学者は1965年に700人に1人だったが、今や130人に1人が医学部に入学者時代となっており、医学部入学者の難易度は以前の5分の1に低下しているとした▼医師には、日々増大する膨大な量の医学知識や最新の技術技能を習得するなど、一定レベルの高い知的能力が必要とされる。学力レベルなどの資質に問題のある学生が増加すれば、将来の日本の医師の質の低下を招くとしている。したがって、医師数を増加するよりも、医師の配置や偏在の是正が望まれるとしている▼筆者はこの意見に反対だ。高齢者をはじめとする患者の増加は顕著であり、医師の偏在の是正で追いつくものではない。患者の増加は、国民皆保険制度によってすべての国民が医療を受けられるようになったことによる。無保険時代は、お金がなくて死ぬまで医者にかかれな人が大勢いた。こういう暗黒時代は御免である。医学の進歩とともに医師も増

加させねばならぬ。(海)

被災地訪問

参加記

協会の池内春樹理事長は、10月14・15日、東日本大震災の被災地である岩手、宮城、福島を訪問。県立病院や仮設住宅、被災協会を激励するとともに、関係者に現状を聞き、改めて被災地のニーズの把握に務めた。池内理事長は阪神・淡路大震災時に協会が取り組んだ「仮設住宅調査」の内容を伝え、仮設や復興住宅で起こった孤独死の悲劇を繰り返さないためにも、医療・福祉拡充を求める運動を強める必要性を各所で訴えた。レポートを紹介する。

人間本位の復興のため 大きな運動を

理事長 池内 春樹 (姫路市)

伊丹から空路、花巻へ。たちを招待した「浅中温泉空港では、震災直後から岩手県の支援を続ける青森協会の中村寛二参与、事務局の藤林渉さんの案内で、民話の里・遠野を経て、一路陸前高田へ。

陸前高田では、二つの仮設団地を訪問。竹駒町相川の仮設団地では、青森協会が中心になり、避難所の人

だ。

陸前高田第一中学校の仮設団地は、高台で多くの人が逃げのびてきたところに建てられている。この仮設住宅は、工事現場の建物のよう。断熱剤が入っていないので、後から取り付けたことだが、冬に向かい不安がつる。仮設の岩手県医師会・高田診療所が併設されている。

高田病院院長で、10月30日、高田診療所長と高田田病院へ。ここで陸前高田



岩手協会の箱石会長(左2人目)、島山事務局長(左端)と懇談する兵庫協会の池内理事長(右2人目)と藤田事務局長(右端)

人先生に病院を案内していただき、「仮設の40床の入院病棟を新たに作る許可が出た」と、ひとまずほっとしておられた。方には盛岡の岩手協会、箱石勝見会長

杉村神大病院長と懇談

ドクターズ・デモンストレーション2011への協力を要請



杉村神大病院長(中央)に池内協会理事長(右)と道上兵庫民医連副会長(左)が要請

医師ユニオンなどを中心に、医療再生などをアピールしようとの「ドクターズ・デモンストレーション」(略称DD)、11月20日に医師1000人で行われる「ウォーク予定」について、協会は10月17日、神

戸大病院長の杉村和朗先生を訪問。兵庫民医連副会長の道上哲也先生とともに、運動への協力を要請した。

戸大病院長の杉村和朗先生を訪問。兵庫民医連副会長の道上哲也先生とともに、運動への協力を要請した。

戸大病院長の杉村和朗先生を訪問。兵庫民医連副会長の道上哲也先生とともに、運動への協力を要請した。

戸大病院長の杉村和朗先生を訪問。兵庫民医連副会長の道上哲也先生とともに、運動への協力を要請した。

市教育委員会・横田祐佑委員長に話を伺う。横田先生は先述の高田一中の避難所が、「常に皆が顔をあわせていた避難所と違い、いかに仮設住宅でコミュニティを作るかが重要。心のケアの問題等、十分に配慮して取り組みたい」と、課題を語ってくれた。

保団連公害視察会

福島原発事故 被害の重さ実感

西区・歯科 林 祐介

保団連は、10月15日〜16日に公害視察会を実施。全国から68人が、福島県の福島市と飯館村を訪れ、東日本大震災と福島第一原発事故の被害状況を視察した。兵庫協会から、池内春樹理事長、林祐介副理事長、森下順彦理事、山田旺評議員が参加した。林先生の感想文を紹介する。

15日、「国策による災難で日本史上最大最悪の災害『原発震災』謝れ、償え、であり、苛酷事故と原発震災は想定されていたのに東電は現地福島からの報告電は対策をとらなかつた」と、伊東達也原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員から伺った。福島第一原発事故は、世識を持ってなかつたこと、

16日、バス2台で飯館村へ。飯館村の標識を過ぎると人の姿を見なくなつた。村役場に到着してバスを降りると、大きな放射線量の標識が設置され、2・54マイクロナシーベルト/時を示すところもある。その後、村営書店「ほんの森のいたて」に行くが、今は書棚には本はなく、ダンボールの中に片付けられていた。

菅野村長は「2年後には村に帰る」と言う。大変重たい言葉だ。今、村長はゼロからのスタートではなく、ゼロの位置まで村を戻すのに全身全霊を費やしている。また村の放射能の除染を考慮して、介護を必要とする。また村の放射能の除染



菅野飯館村村長(右4人目)から話を聞く参加者

菅野飯館村村長(右4人目)から話を聞く参加者。菅野飯館村村長(右4人目)から話を聞く参加者。菅野飯館村村長(右4人目)から話を聞く参加者。

菅野飯館村村長(右4人目)から話を聞く参加者。菅野飯館村村長(右4人目)から話を聞く参加者。菅野飯館村村長(右4人目)から話を聞く参加者。

理事会 レポート

◇出席 26人
◇情勢 ①野田首相は共産党の志位委員長や社民党の福島党首とそれぞれ会談し、福島第一原発事故を受けて、原発推進のための関係予算や資金の見直しを行い、放射性物質の除染や賠償金支払いの費用に充てる考えを明らかにした。原発関係の積立金は消費者が支払う電気料金の一部であり、残高は4兆8000億円に上る。②厚労省は年金支給開始年齢の引き上げ時期を前倒しする案を提示する方針。

◇医療運動対策 ①患者署名目標を、前回までの2万筆を加えた合計5万筆とし、理事者の目標は1人100筆とする。②県下各自に「(真手)ライフの飯館村」「(真手)ライフの飯館村」を「まてい」とは両手の意味だ。手間ひま惜しみます丁寧に、心を込めて、つつましくという意味で、現代風にいえばスローライフ。

環境・公害対策部、淡路支部共催
潮流発電・海流発電、風力発電——
淡路島の新エネルギー視察会

日時	11月23日(水・祝)
集合	JR三ノ宮駅9時15分
内容	淡路サービスエリア10時30分 潮流・海流発電実験所、 風力発電所建設予定地見学
案内	株式会社ノヴァエネルギー 代表取締役 鈴木 清美氏ほか
参加費	三ノ宮乗車5000円、淡路乗車3000円※いづれもマイクロバス移動費、昼食代含む
定員	20人(申込順)

お申し込み・お問い合わせは、
☎078-393-1807 小西、楠まで

子ども病院問題でマスコミと懇談

ポニーアイ移転は見直しを

会員アンケート結果を紹介

協会は10月19日、協会会館でマスコミとの医療問題の会員アンケート結果など懇談会を開催し、県立こども病院移転問題について、県立こども病院を移転させるの理由が「移転に反対する理由は何か」「実際に中央市民病院とつまく連携できるのか」などの質問が出され、協会側から丁寧に回答した。



マスコミからも質問が多数出された

参加したの

は読売新聞社、朝日放送、兵庫民報の3社。協会からは池内春樹理事長、武村義人・加藤擁一・川西敏雄・吉岡慶各副理事長が出席。川西副理事長が司会進行を行い、池内理事長が県立こども病院移転問題の概要を報告し、その後、医療問題は県民の関心の高いテーマであり、今後も医療問題懇談会を開催していきたいとして懇談会を終えた。

移転問題の概略を報告した。

新規開業医研究会

開業の基軸となる

3側面を学ぶ

協会は10月16日、協会会館で新規開業医研究会を開催し、5人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

新規開業研究会は、10時から17時まで行われ、午前中に保険診療と保険請求の要点、審査・減点の現状と対策について、午後からは新規開業に必要な税務対策と、開業時の労務について3部で構成されており、



先輩開業医から開業前後の課題を学ぶ

これまで開業前後に必要な情報を断片的には得ておりましたが、保険診療・税務・労務が開業を支える主軸であり、それぞれに熟知すべき事項がまだまだ多い

で、今後どのように対応すればよいのか、どのような心構えで臨めばよいのか、イメージすることができました。税務対策については、その専門性を認識することで、初期の段階では税理士の方との連携、税務が円滑に行える環境をいかに整えるべきかが明確になり、今後の取り組みに生かしていこうと考えております。

最後の労務に

ついては、夫婦で参加した意義を深く感じました。経営者としての立場から押さえておくべき事例を明示いただきました。加えて、医療を支えるのは人であり、人が働く環境を整えることが、ひいては患

求人



◆歯科医師、年齢不問
◆常勤
◆勤務地 神戸市北区
◆条件 40万円以上
お問い合わせは、
☎078-393-1809
協会・松村まで

支部の催物案内

■北阪神支部■在宅医療研究会

日時 11月10日(木) 18時～
会場 宝塚ホテル6F宝寿の間
テーマ 認知症の基礎知識～アルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型～
講師 西宮市・つちやま内科クリニック 土山雅人先生

■姫路・西播支部■秋のバスツアー

日時 11月13日(日)
集合 相生駅7時30分、姫路駅8時10分
行程 京都・大徳寺高桐院で紅葉狩り、甘春堂の和菓子作り体験など
参加費 10000円

■北播支部■会員懇談会

日時 11月16日(水) 19時30分～
会場 小野市加東市医師会館
テーマ 睡眠時無呼吸症候群(SAS)におけるOA(マウスピース)治療の臨床
講師 北区・井尻歯科クリニック 井尻博和先生

■西宮・芦屋支部■Medical English

日時 11月18日(金) 14時～
会場 西宮フレンテ5階練習室
テーマ 慢性腎臓病、血尿
講師 Mr. Robert Conroy
アドバイザー 結城泌尿器科 結城清之先生



県立柏原病院の小児科を守る会

北摂・丹波支部 和久 雅彦

秋の丹波と言えは、松茸、黒豆、栗にぼたん。自然の恵みの宝庫です。この時期だけはネオンのないわが山里を、恨めしく言う人はいません。ところが、人が安心して住めるためには、自然の恵み以上に教育、医療などのインフラの充実が必須です。



柏原病院の小児科医を囲む「守る会」メンバー

丹波に限らず全国の地方都市で、医療崩壊が叫ばれるようになって数年。奇跡と呼ばれる医療再生の物語が、この丹波で起こりました。「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動です。この活動の本質こそが、わが地域の最も誇らしい精神を備えていると考え、ご紹介

4年前、地元柏原病院の小児科が存続の危機に立たされました。それを助けた主婦7人が「柏原病院の小児科を守る会」を結成。彼女たちが市民に訴えたことは、たった三つです。①コン

ビニ受診をやめましよう、②かかりつけ医をもちましよう、③お医者さんに感謝の気持ちを伝えましよう。当初、そんな生易しいスローガンでは何も

は激減し、街を走る車には「地域医療を守るの一人ひとりの心がけ」と書かれたステッカーが溢れかえりました。彼女たちが作った「病院に行く、その前に」と題された受診チャートは、子どもを持つ家庭に常備され、本来の二次医療が守られたのです。

山を動かした瞬間でした。誰かを責めたり要求するのではなく、いつも自分たちに矢印を向け、自分たちができることを探した、彼女たちの運動の成果だったので。私たちは学びました。

人の心を動かすのは、命令や規則や圧力ではなく相手の立場に立てる思いやりであること。人を変えるのではなく、まず自分たちが変わらなければ何も変わらないことを。「ありがとう」や感謝の言葉は、争いや憎しみを生みださないことを。

自分に向けられた矢印の力。その矢は必ず人の心にも刺さります。

芦屋非核平和祈念のつどい

美しい地域を守るため

原発やめよう

「芦屋非核平和都市宣言 あいさつを行った。協会が26周年・被爆66周年非核平和祈念のつどい」が、10月15日に芦屋市ルナ・ホールで開催され、220人が参加した。実行委員長を務める幸原久協会監事が、開会

して記念講演。世界平和アピール七人委員会などでの核兵器廃絶や脱原発の取り組みについて語った。ベストセラー「世界が100人の村だったら」の原作となる記事を書いた米環境学者ドナ・メドウズ氏が「人々が幸せになるための五つの条件」として「①きれいな環境があること②いまいる所から戦争や自然災害で逃げないこと③医療を受けられること④教育を受けられること⑤伝統や文化に誇りを持ち、それを愛すること」を紹介。これらが、福島原発事故の被害者から奪われているとし、「緑濃い六甲の山」から始まる芦屋平和都市宣言にもふれ、美しい地域を守る「保守」の立場から原発をなくすことを訴



記念講演する池田香代子氏

「翻訳家の池田香代子氏が「100人の村」あなただけに生きています」と題

歯科会員アンケート

受診抑制が悪化 将来に不安

患者負担軽減・診療報酬改善で「保険で良い歯科」を

図1 3月の大震災以前と比べ請求点数は

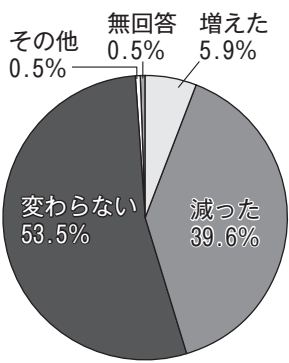


図2 3月の大震災以前と比べ患者数は

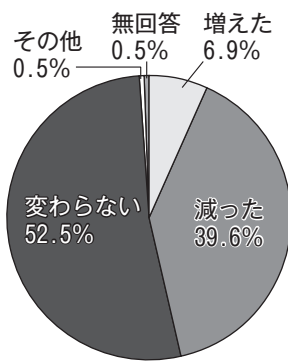


図3 秋以降、患者は増加すると思うか

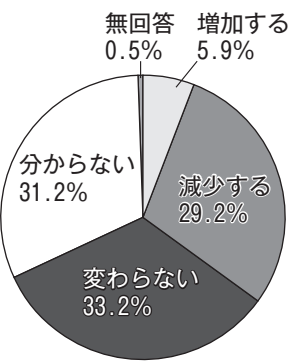


図4 医業収入・患者数を増やすための方法は

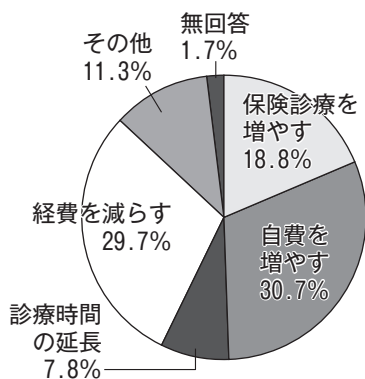


図5 「自費を増やす」の回答者(90人)で、増やすのはどの項目か(複数回答)

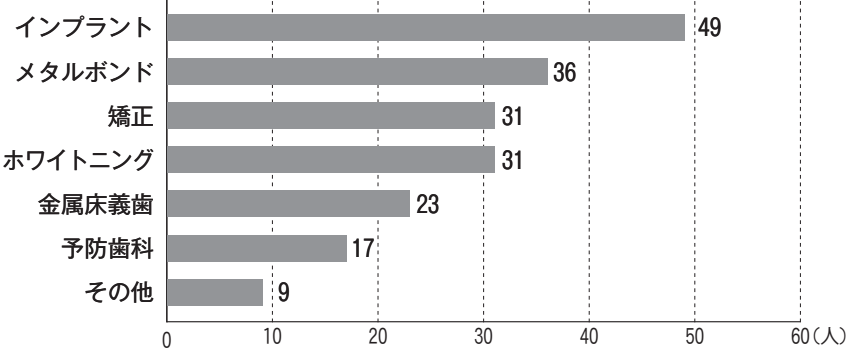


図6 「自費を増やす」の回答者で、今後自費は増えると思うか

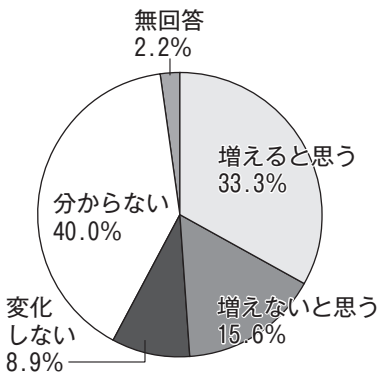
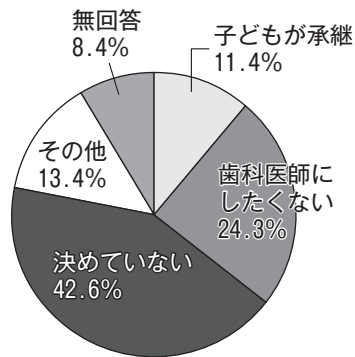


図7 診療所の継承について



保団連が全国で一斉に実施した「歯科会員アンケート」の兵庫協会集約の結果が明らかになった。アンケートは、東日本大震災以後、全国的に患者受診が減少しているとの声が寄せられていることを受け、患者受診状況と今後の歯科医院の経営などに関する会員の意識を調査し、その問題点を国会議員やマスコミ関係者などに周知するなど、歯科医療の崩壊阻止の諸活動に活用するため実施したもの。兵庫協会では、FAX可能な歯科会員1391人に9月下旬に送信したところ、回答数は202人、回答率は14.5%であった。

回答の特徴として、第1「増やす」が2割に満たないに、受診抑制の傾向が著しくなっていることである。3月の大震災以前と比べて請求点数と患者数が「減った」との回答が4割近くに上っている(図1、2)。また、秋以降の患者の増減見込みについても「減少する」が3割近くになっている(図3)。

第2に、自費診療重視の傾向がみられることである。医業収入を増やすための方法として、「保険診療を第3に、自費診療を志向する傾向があっても、自費

「増やす」が2割に満たないに、自費を増やすという回答者の中にも、自費は「増える」としたのは3分の1にすぎず、「増えない」と思う「変化しない」との回答も4分の1あり、自費を増やす経営努力をして、自費が増える見込みがないという矛盾があることが認められる(図6)。

第4に、将来展望の暗さである。診療所の承継について、「子どもが承継」と決めて

いるのはわずか1割にすぎず、4人に1人が「子どもを歯科医師にしたいくない」と回答している(図7)。

第5に、こうした歯科医療の閉塞状況を打破するには、患者負担の軽減、保険範囲の拡大、診療報酬の改善を求める「保険でより良い歯科」運動がますます重要となってきていることである。

自由意見欄では、患者負担の軽減と保険点数引き上げで、受診抑制の克服と経営の安定を求める声が多く寄せられている。

歯科部会では、たくさんご協力いただいた今回のアンケート結果を参考に、「保険でより良い歯科医療」実現に向けての運動と政策を、協会内外に訴えていきたい。

■ 寄せられた意見(抜粋) ■

- ・ 歯科、危機的状況です。個人の努力では限界です。
- ・ 極端な受診抑制を感じています。高齢者でも。
- ・ 負担金の持ち合わせなく来る患者がいる。国として対策を考えてほしい。
- ・ 患者さんの収入を増やす政策を求めるか、一部負担を減らす運動をしていかなないとジリ貧になる。
- ・ 現在の保険点数では経営が成り立ちません。
- ・ 患者の負担割合を減らす方向、方法はないのか?
- ・ 歯科医師数が多過ぎるとは言えない。点数が20年前とは一掃たという点が問題だと いわれます。閉塞感しかありません。
- ・ 窓口負担を無料にするようにしてほしい。

秋の共済制度普及 好評受付中です!

2012年から制度改善を予定しています(次号で紹介) 毎月10日締切(翌々月1日発足)

(団体定期生命保険)

グループ保険

昨年度配当は**42%**
過去17年連続配当!

- 団体保険だから断然安い保険料
- 最高5000万円の高額保障
- ライフプランに合わせていつでも増額・減額できます
- 毎年高配当を継続
- 配偶者1000万円のセット加入あり
- 医師による診査はありません
- 最長75歳まで保障

協会の「休業保障制度」にご加入いただけない方や、上乘せ補償をご希望の方へ。

所得補償保険

ご家族・従業員も、ご加入いただけます

- ・ うつ病等の精神障害、認知症による就業不能も補償
- ・ 入院による就業不能は1日目から、自宅療養は5日目から補償
- ・ 再発の場合も含めて通算1000日まで補償
- ・ 地震など天災によるケガも補償
- ・ 協会「休業保障制度」や医療保険、公的保険の給付に関係なくお支払い

医師賠償責任保険

他の医賠償責任にご加入でない先生方へ。
・ 医療上の事故、医療施設の事故を補償

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

* 共済部だよ! 「保険医年金」ご加入の皆さまへー

『年金融資』をご活用ください

協会では、「保険医年金」ご加入の先生向けに『年金融資』を取り扱っています。急な資金ご入用の場合など「保険医年金」を解約することなく、最高1000万円まで(但し、「保険医年金」積立金残高上限)融資を受けることができます。

※適用利率: 5年まで 2.075%
6~7年 2.175%
(据置期間2カ月、変動型)

手続きの概要

①まず、協会へお電話ください→②協会から融資申込書をお送りします→③印鑑証明・収入印紙をご用意いただき、申込書類に必要事項ご記入のうえ、協会に持ち込み、または、郵送ください→④兵庫県医療信用組合にて制度説明を受けていただきます→⑤審査後、融資実行となります(毎週木曜締切・翌週金曜実行)

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

投稿員会

南洋ラワン材は年輪がない

高砂市 多木 喬郎

私が熱中症(戦前は日射病)という名前を聞いたのは、日中戦争たけなわの昭和10年代前半のこと。

当時、日本陸軍は中国大陸に侵入し、中国軍と戦闘を交え、主要都市を支配下に治めていた。しかし、中国全土を席卷するための軍隊の移動に軍用トラックは、ほぼ徒歩に限られていた(それで歩兵といったのかなあ)。

彼ら歩兵は五つボタンの戦闘服をまとい、肩に10キロの背嚢を背負い、小銃を右肩に担ぎ、徒歩で次の戦闘地に移動していた。もし移動中に日射病で倒れても、皆、自分自身のことだ、を出し寒風摩擦で皮膚

高砂市・岡部桂一郎先生(協会監事)の鹿児島旅行記(8月17、19日)を3回にわたって掲載する。

南の国の偉人 西郷隆盛の生き様に学ぶ(上)

高砂市 岡部桂一郎

九州新幹線に乗るために早朝の新神戸駅に着いた。南の国の喜びはかすんでしまった。

終着地・鹿児島中央駅にお屋頂に着き、昼食を兼ねて街中を少しぶらつき、昼と夜の街の雰囲気はどう違うかを味わおうと考えた。

九州新幹線は3月12日に全線が開通したが、東北地方を襲った地震、津波、原発事故という大災害と重なったために、日本中の関心は、そのことに目を奪われて、開通式

を鍛え、酷暑に制服をまとい五つボタンをかけ日中を行軍させ、体温調節機能を自然に体に覚えさせようとした。

さて、今夏に熱中症のニュースを聞いて深刻に身を感じたのは、高齢者の死亡件数の多さだ。

前述のごとく、戦前生まれの人間は成長時期、酷暑寒に対する訓練を受け身体を鍛えたが、奇る年波には勝てず、加齢による体温調節機能が低下するのが最大の理由。

また、子どもも熱中症にかかる率が高いのも、体温調節機能が発達していないから当然であり、訓練しなければ重症化する率が高くなる。しかし現在の小中学生は夏は冷房(クーラー)、冬は暖房を決め込み、楽な方に楽な方にいこうとする。若い時こそ寒さ暑さで身体を鍛え上げ、年をとれ

ば遺伝子が傷つかぬように快適な温度で暮らす。南洋のラワン材は気温差がないため、年輪を形成できず堅さが無い。それに対し、日本の樹木は四季があるため、年輪が刻まれ、同じ鮑(かんざ)で削っても刃の抵抗が全く違う。それが生物学的の基本。

人の一生は、生まれた瞬間から息を引き取るまで闘争の社会に翻弄される限り、「ゆとり」のびのび「はかない。鍛え抜かれた者は強く甘やかされた者が弱いのは当たり前。今の子どもたちは恵まれすぎている。例えに熱中症をあげたが「今に見ている。裏が来るぞ」と思うのは杞憂であるうか。

本の紹介

青木はつる 著 食物本草をよむ

角川学芸出版 定価1260円(税込)

日本の医学の源流として底流には「本草学」があると思っています。ドクターにとり、「本草学」の基本に通ずることは甚だ益多しと拝します。

薩長土肥という明治維新に偉人を輩出した地方で生まれ育ち、日本人の精神的な伝統性に誇りを感じて生きていた自分自身を見直すには、西郷の生まれた土地に足を運ぶべきだと痛感していた。

新幹線の車内は、ゆったりとした、深いタークアラウンのシート。桜が杉の木調が浮き出たパネルを随所に施した内装は、自宅の応接間より落ち着いていた雰囲気を感じさせてくれた。ただひたすら目的地を目指すスピードと防音性、安全基準を追求してきたJRの、たゆまない技術革新と努力を羨感した。

鹿児島中央駅は空間的にやや狭い感じで、土産品売り場の雑踏、観光案

内所や洗面所の不備は改善の余地があるだろう。しかし、それらの欠点は桜島の雄姿が補ってくれる。薄曇りで、暑さ思っただけでない。行き交う人々もなんとなくおっとりした感じで、身だしなみもけげなくなく、落ち着いた感じである。大都会の騒音、テレビの大画面、街頭演奏にうんざり気味の神経を休ませてくれそう。

審査対策部だより

2010年度の個別指導における指摘事項(医科)①

近畿厚生局(兵庫事務所)に指導の事務が移管して以降、指導の実施件数が増え、実施が遅れがちであった新規指定の医療機関に対する個別指導も、開業地域による相違はあるものの、おおむね指定から半年経過後で実施されるようになってきています。

個別指導はもちろん、新規指導でもカルテの記載不備等がある場合は返還を求められることとなりますので、指導に毅然と対応するためにも、療養担当規則や点数表の通知に基づいて、日常的に診療内容やカルテ記載に留意することが重要です。協会が近畿厚生局に対し開示請求をして交付された文書から、昨年度の「(新規)個別指導」において指摘された主な事項を掲載します。

1. 診療録にかかる事項

- ・診療録第1号(1)〜3様式(編注:点数集計欄)が不備であるので整備すること。
・3号様式についても記載すること。

- ・自費診療と保険診療の診療録を分けること。
・診療録の記載の充実に努めていない例が認められた。(主訴・所見・症状・治療内容等)
・診療録を更新する際、既往歴・病歴等が転記されていない。
・症状名を傷病名にしている。
・診療録の初診日とレセプトの初診日が相違している。
・転帰が記載されていない。
・湿疹については、部位を記載すること。
・同じ病態の病名が記載されている。
・病名が過多となっているので整理すること。
・傷病名の「妊娠」は、保険診療では認められない。
・傷病名が長期になっているものについて整理すること。
・複数の医師が診察した場合は、診療録に署名または記名押印を行い責任の所在を明確にしておくこと。(続く)

本の紹介

小倉 正行 著 TPPは国を滅ぼす

宝島社新書 定価700円(税込)

原発に関わる本と同じように、書店ではTPP問題を洗脳する政府や財界の真の狙いを鋭く突いた内容です。TPP問題は、国内農場経済化・国民的皆保険

「平成の開国」と、国民を洗脳する政府や財界の真の狙いを鋭く突いた内容です。TPP問題は、国内農場経済化・国民的皆保険

「平成の開国」と、国民を洗脳する政府や財界の真の狙いを鋭く突いた内容です。TPP問題は、国内農場経済化・国民的皆保険

業の危機が問題視されがちですが、兵庫協会では、いち早く「医療の産業化」に着目して議論を重ねてきました。本書では、日本の全体的な産業が破壊されるTPPの本当の怖さを詳しく分かりやすく記述しています。目次をご案内します。

第1章 TPPとアメリカの思惑/第2章 推進派と反対派の暗闘6月/第3章 犠牲にされ続けた日本の農業/第4章 TPPで日本はこうなる/第5章 TPPと日本農業の両立はあり得ない/第6章 国にどのような議論されたのか

参考資料は、朝日新聞、産経新聞、しんぶん赤旗、日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞などで、偏りなく記載されています。TPPで、食物自給率が低下する根拠も明確に記述されています。

医療の産業化・医療の市場経済化・国民的皆保険【赤穂郡・歯科 白岩 一心】



「予防力」を強化する プロケアの新コンセプト

東京都港区・高輪歯科DCC院長 加藤 正治先生講演



はじめに

これまでプロケアやメンテナンスといえば、「どのように汚れを落とすか」「傷を付けないようにするにはどうしたらよいか」が話題の中心であった。しかし、プロケアの目指すべき目標は、その先にあると考えられる。

近年、オーダーメイド医療という言葉が浸透し、歯科においても、個々の口腔に応じたオーダーメイドのプロケアが提唱されるようになってきた。しかし、現実には、どの患者に対しても同じ内容のケアを、毎回繰り返している現場も少なくない。

そもそも、オーダーメイド医療とは、Personalized Medicineと表され、個性に応じた個別対応の医療を指している。

今日の歯科医療においては、われわれ医療従事者が様々な視点で、患者の個性を踏まえたケアを提案していく必要がある。患者の個性を特徴付ける要素としては、表1のようなものがある。

1. 臨床検査の有効活用

細菌をターゲットにするためには、見えない相手を見えるようにすることが必要である。位相差顕微鏡は、興味深い動画をわれわれに提示してくれるツールとして有効活用したい。しかし、T.d菌のようにわかりやすい運動性菌や運動性桿菌は確認できるが、P.g菌のような非運動性菌は顕微鏡では確認できない。

一方、唾液やポケット内から検体を採取する歯周病関連細菌数検査は、P.g菌をはじめとするRed Complex構成菌の定量に利用することができる。

また、宿主反応を知る手がかりとして、指尖採血による血漿抗体価検査の数値もマークしていくことで、真の意味での予防が実践できると考えている。検査の結果、除菌が必要な症例には、表2に示すようにドラッグリテーナーを用いた除菌法が効果的である。

2. エナメル質のプロフェッショナルケア

エナメル質のプロフェッショナルケアで目指すべき目標は、研磨ではなく、修復であると考えている。歯面が修復されるためには、あくまで非侵襲的に再石灰化や再結晶化を促進するような手法が理想である。

表面性状が改善すれば、ステインやバイオフィルムのコントロールも容易になるであろう。また、初期脱灰病変は健全歯質へと回復するであろう。当院では、歯面研磨から歯面修復へ転換し、「削る」から「埋める」方向性を旨としたケアを総称してナノケアと呼んでいる。

ナノケアの第1ステップは、効果を邪魔するものを取り除くことである。具体的には、手用ブラシ類、プラスチックキュレット、さらに振動の力を利用する音波ブラシ等で汚染物質の厚みを減じるようにする。究極の有機系汚染物質溶解剤は、次亜塩素酸ナトリウムである。しか

し、周知の通り10%ともなると、その扱いには細心の注意が必要である。

クラレメディカル社製のADゲルは、増粘剤の添加で白色のゲル状を呈しているため、歯面に塗布しても垂れず識別しやすいため、液体よりは安全に使用できる。ただし、添付文書に記載のない使用方法にあたるため、使用の際は歯科医師の判断のもと十分に注意すべきである。

ナノケアにおいて第2のステップは、ナノレベルの粒子配合ペーストを作用させることである。サンギ社製リナメルは数十ナノレベルのハイドロキシアパタイト製剤で、研磨剤は無配合となっており、もともとPMTCの最終仕上げに用いることがうたわれているが、有機質溶解処理と併用することで歯面修復材としての効果が期待できる。

3. POs-Caの有効利用

ナノハイドロキシアパタイトによる充填効果をより確実なものにするためには、カルシウム成分を含有するガムの摂取が効果的である。特に結晶、粒子間への浸透を考えた場合には、イオン化して唾液中に溶出してくるものが有利と考えている。

POs-Ca配合ガムを摂取することは、唾液中にカルシウムイオンが増加することで再石灰化が促進し、そして、その再石灰化は単なるミネラル量の増加ではなく、健全歯質にきわめて近似したハイドロキシアパタイトの結晶となることが口腔内環境下で実証されている。

4. 象牙質のプロフェッショナルケア

象牙質は歯周治療やくさび状欠損、オーバーブラッシング等、様々な原因でセメント質を失って露出してくる。特に歯周治療後の根面露出はメンテナンスの対象部位として器具でふれる機会が多くなりがちであることから、その特性についてよく認識しておくことが必要である。

クリーニングの流れで、やみくもに根面にダメージを与えることは避けたい。価値の高い根面ケアで目指すべきテーマは、ステイン沈着抑制、バイオフィルム付着抑制、根面齶蝕予防、知覚過敏抑制などである。

露出根面象牙質の表層の有機質を除去し、ハイドロキシアパタイトを用いて象牙質細管を封鎖してアパタイトリッチな表層に改質することができるならば、根面齶蝕、知覚過敏の抑制につながり、臨床的意義は大きい。

5. 補綴材料の非侵襲的ケア

PMTCの普及に伴い、その弊害が問題視されている。

PMTC、特に研磨剤を用いて磨き上げる行為は、本来補綴材料に当てはめるべきではない。

表面性状についていえば、ラボで鏡面研磨されて納められた技工物が、口腔内に装着されて補綴物となった瞬間が最高の状態であり、いかに維持していくかが

メンテナンスのポイントになる。補綴物に傷をつけないケアを心がけることで、長期的な予後に差が出てくることは、十分に実感できることである。

すでに荒れてしまっている補綴物表面に対しては、可能な限りの口腔内再研磨を施すことが必要となる。

おわりに

今回取り上げたテーマは、エナメル質、象牙質、補綴物表面の微妙な変化である。個性を特徴付ける要素を考慮しながら、「観察力」と「判断力」をもって自己評価を繰り返し、予防の本質を追究していただけたら幸いである。

表1

Personalized Professional Care		
全身状態 メタボ 生活習慣病 要支援・要介護	口腔内環境 細菌 唾液 硬組織 補綴材料・設計 歯周組織 咬合状態	生活環境 ライフステージ 生活習慣 経済事情
セルフケア 技量 嗜好 認識度・理解度		性格 行動的 受動的 無関心

表2

ドラッグリテーナーのメリット
① 確実性: 届かない部位に作用させることができる
② 効率化: 唾液を排除して一定時間作用させることができる
③ 簡便性: 高度なテクニックを必要としない
④ 易操作性: 高齢者や要介護者をサポートする人も扱いやすい
⑤ 機械的刺激排除: 歯肉に対してブラッシングによる過度な機械的刺激を抑制できる
⑥ 安全性: 薬剤の誤飲防止

診療内容向上研究会 第471回

動物由来感染症

—身近なペットからの感染症—

日時 11月12日(土) 17時~19時 場所 協会会議室
講師 神戸大学大学院微生物感染症治療学分野講師
神戸大学都市安全研究センター講師 大 路 剛先生
共催 ファイザー株式会社



歯科定例研究会

自分にぴったりの材料を活かす！
～交通整理をして、臨床に活かそう～

日時 11月13日(日) 14時~17時
会場 協会会議室
講師 愛知学院大学歯学部保存修復学講座准教授、附属病院審美歯科外来科長 富士谷盛興先生
定員 120人(事前申込順)

お申し込み・お問い合わせは、
☎078-393-1809 岡林まで

地域医療部

改定介護保険法で介護現場はどうなる!?

日時 11月19日(土) 14時30分~
会場 協会会議室
講師 大阪社会保険推進協議会介護保険対策委員 日下部雅喜氏

パネラー
訪問看護師：東灘区・訪問看護ステーション・メリー 中村 育子さん
ヘルパー：西宮市・ホームヘルパー派遣センター 野澤 裕子さん
ケアマネジャー：西宮市・居宅介護支援事業所まどか 榎 久子さん

お申し込み・お問い合わせは、
☎078-393-1803 まで